

りょうきゅう  
遠藤 暁及

## 危険な極楽、アースキャラバン (10)

# 地球温暖化の怪

9月28日、『希望の火』を携えて長崎を自転車に出発。東京まで各地の寺院・神社・教会、モスク、また市長室、学校、福祉施設等、48ヶ所に立ち寄った。

そして人種・宗教の垣根を超えた多くの人々に、平和の祈りを込めてもらいながら、東京ドームにゴール。

『希望の火』を無事、ローマ教皇の長崎・東京(11月24日、25日)のミサ会場で奉納し、計約8万5千人の祈りを加えることができた。

さて、本題に入ることにしよう。北欧の少女グレタが国連内の会議室でスピーチしてから、地球温暖化の問題がにわかに世界的な動きになった。今や、多くのリベラル派と呼ばれる人々や、平和活動家までもが、温暖化のためのデモや座り込みをやっている。

それにしても、地球温暖化問題に感じる妙なモヤモヤ感は、一体何なのだろうか？ 気になったので、僕なりに調べてみた上で、ドクターNOBIにも尋ねてみることにした。

**りょうきゅう** (以降はRと表記する)：地球温暖化によって、海面上昇による埋没や山火事などの大惨事が急増して、間もなく人類が滅亡する、とされていますが、どうなのでしょうかね？

**ドクターNOBI**：実は、地球温暖化が人為的なことで起きているというのは、気候変動モデルを作った学者たちによって、90年代から提唱されて来たことなんです。

**R**：ああ、そうだったんですか。

**ドクターNOBI**：ところが、その学者たちがデータ分析を誤魔化す方法を相談しているメールが、2009年に暴露されました、...

**R**：ニュースには流れませんね。逆に地球温暖化人為説は、マスコミによる宣伝効果なのか、人類の多くが支持していますね。

**ドクターNOBI**：経済分析者のマイク・シェドロックが、地球温暖化の根拠となっているグラフの問題点を、5つほど指摘しています。

**R**：地球温暖化を主張する学者たちが根拠とし

ているグラフですね。

**ドクターNOBI**：まず、米国の年間の熱波の発生回数ですが、グラフの起点を1960年にしています。でも、1900年からのグラフで見ると、逆に地球が温暖化していないことがわかります。

次に米国における年間の山火事の発生回数ですが、実際には、1968年にかけて減り続けています。しかし温暖化のグラフでは、増えている年数の部分だけを取り出しています。

また、北極海のグラフも、氷域が減っている時期だけを出しています。実際には1970-79年に氷域が急拡大しているのです。

その他、ニューヨークの海面上昇を示すグラフは、産業革命後の1920年代から上昇傾向の部分だけを出しています。実際には、人類が温室効果ガスをほとんど排出していなかった頃に、海面が急上昇しているのです。

最後に、オハイオ州の町で、最高気温が摂氏32度以上になる年間日数のグラフです。これは1955年から、増加傾向のある年だけを並べたグラフです。実際には、最高気温は減る傾向にあります。

**R**：僕が調べた図を見てもうと、より分かりやすいかも知れません。

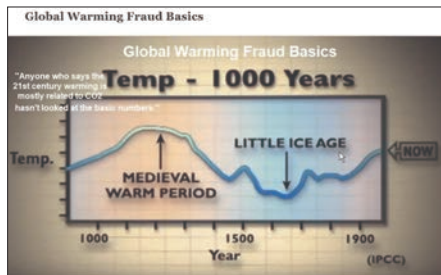


図1 / 13世紀の頃は今よりも温暖化した地球でした。



図2 / 1940年から1975年は、地球温度が下がりました。

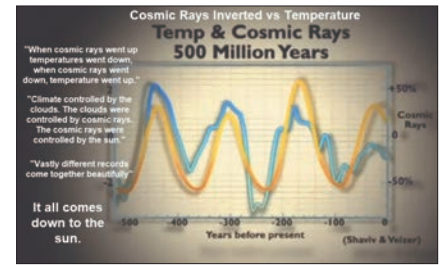


図3 / 赤と青の線は、太陽活動(宇宙線量)と地球温度の一致を示しています。

**ドクターNOBI**：図2の1940年～1975年のグラフは、温暖化説の学者が隠している部分ですね。これは医薬品や食料品の認可をもらうのと同じやり方ですね。

**R**：はい。GMO(遺伝子組み換え食品)を4か月間食べたラットには癌が多発するから、穀物会社は3か月分の実験データを根拠に、認可を申請しています。研究費をもらうためにデータを捏造する、良心のない学者たちはどこの世界にもいますからね。

**ドクターNOBI**：一方、良心のある学者たちもいます。世界の気候学関連の500人の学者たちが、「気候変動で危機が起きることはない」と題する書簡を、国連事務総長あてに連名で出しているんです。

**R**：地球温暖化に否定的な学者は、その世界では干されるらしいから、それは勇気ある告発ですね。500人と言えば、かなりの数ですが、どんな内容なのですか？

**ドクターNOBI**：「実際の温暖化は予測の半分以下で、結果は捏造だ。非科学的なモデルを元に、何兆ドルもの費用をかけて温暖化対策をやるのは、世界経済を破壊する危険な行為である」というものです。

**R**：温暖化対策が世界経済を破壊する可能性については、ブーチンも言及していましたね。世界経済が破壊されたら、そのしわ寄せは、中間層や貧しい人々にかかってきますから、気をつけなくてはならないですね。

**ドクターNOBI**：温暖化対策の声を上げている若者たちは、純粋な気持ちでやっていると思います。でもその純粋さが利用され、間違った方向に導かれている可能性も考えておく必要があります。地球温暖化人為説によって利益を受けるのは、果たして誰なのか？ 一体、誰がどのような意図のもとに、御用学者にデータを捏造させ、マスコミに「地球温暖化人為説」を宣伝させているのか？

**R**：何ごとも鵜呑みにせず、まずは慎重に調べた上で活動する必要がありますね。